

2010 年度 授業科目一覧表

授業コード	授業科目名	単位数	開講時限等	担当教員	頁
T1Z054001	工業技術概論	2.0	1,2,3,4 年前期月曜 5 限	魯 云	留学 2
T1Z055001	居住のデザインと生活技術	2.0	1,2,3,4 年後期金曜 4 限	丸山 純	留学 3

授業科目名：工業技術概論	
科目英訳名：Introduction to Industrial Technologies	
担当教員：魯云	
単位数：2.0 単位	開講時限等：1,2,3,4 年前期月曜 5 限
授業コード：T1Z054001	講義室：工 17 号棟 111 教室

科目区分

(未登録)

[授業の方法] 講義

[受講対象] 自学部他学科生 履修可, 他学部生 履修可

[授業概要] まず、日本の工業技術を中心に世界の工業技術の発展、また工業技術による生活、環境、エネルギーなどの変化から工業技術の歴史、現状および将来について解説する。また、工業技術者として必要な考え方、資料調査、技術論文の書き方、研究発表の仕方などについて講義するとともに、理工系学生として勉強の仕方、レポートの書き方などを教える

[目的・目標] 理工系外国留学生として工業技術の発展、また工業技術による生活、環境、エネルギーなどの変化について理解を深めるとともに、工業技術者として必要な基礎力（考え方、資料調査、技術論文の書き方、研究発表の仕方など）、また理工系学生として勉強の仕方、レポートの書き方などを教えることを目的としている。同時に外国人留学生が日本の工業技術について理解を深め、将来、母国の産業や工業技術の発展に尽くしたり日本の企業で働く場合に役立てるようにする。

[授業計画・授業内容] 講義は二部に分けて行う。第 1 部 工業技術の歴史、現状および将来（第 1 回～第 9 回）第 2 部 研究開発者への道理解を深めるため、講義資料は Web で配布してプロジェクターによって講義を行う。レポートと課題発表によって達成度を評価する。（第 10 回～第 15 回）

1. オリエンテーション及び本科目の講義内容など
2. 世界工業技術のあゆみ
3. 日本工業技術のあゆみ
4. ユニークな工業技術
5. 工業技術と生活
6. 工業技術と環境・エネルギー
7. 21 世紀の工業技術
8. レポートの書き方
9. 課題発表-1
10. 研究開発の基本的考え方-1
11. 研究開発の基本的考え方-2
12. 資料調査について
13. 技術論文の書き方
14. 研究発表について
15. 課題発表-2
16. 課題発表-3

[教科書・参考書] 教科書は、特に指定しない。授業中に資料（プリント）を Web で配布する。参考書は、講義中に随時紹介する。

[評価方法・基準] 成績は、出席状況（30%）と演習やレポート結果（30%）及び研究発表の結果（40%）を総合評価し、これらの合計点（100 点満点）が 60 点以上の者に対して所定の単位を与える。

[履修要件] 特になし

[備考] この科目は外国人留学生向けの科目で、外国人留学生の科目区分は専門選択科目（F30 又は F36）となるが、日本人学生が履修した場合は余剰単位（Z99）となり卒業要件単位とならない。

授業科目名： 居住のデザインと生活技術

科目英訳名：

担当教員： 丸山 純

単位数： 2.0 単位

授業コード： T1Z055001

開講時限等： 1,2,3,4 年後期金曜 4 限

講義室： 工 17 号棟 213 教室

科目区分

(未登録)

[授業の方法] 講義・演習

[受入人数] 外国人留学生と日本人学生合計 40 名程度まで (日本人学生は 20 名程度まで)

[受講対象] 自学部他学科生 履修可, 他学部生 履修可, 科目等履修生 履修可

[目的・目標] 人が生活をするということは、与えられた環境のなかでさまざまな工夫を重ね、身の回りから都市や地域のスケールに至るいろいろなデザインをすることに他ならない。環境を形成して行く職能をめざす外国人留学生には、まず、そのような居住のためのデザインや生活技術がどのように展開されてきたか、展開されつつあるかを理解することが求められる。

[授業計画・授業内容] 居住のためのデザインや生活技術について、日本の事例だけでなく、留学生の母国の事例をゼミ形式も交えつつ取り上げ、理解を深めたい。また、フィールド調査の方法、まとめ方、レポートや論文の執筆方法についても解説する。期間中には、学外見学も予定している。

1. 10月1日 オリエンテーション：住むとはどういうことか？そのために人はどのようなデザインをしてきたか？
2. 10月8日 世界には、どんなところにどのような住まいと地域があるか？
3. 10月16日(土)(仮)現地見学：浦安市郷土博物館見学 日本の漁村には、どのような住まいがあり、どのような生活があったか？
4. 10月22日 日本の街には、どのような住まいがあるか？そこではどのような生活をしているか？その1 現代の住まい
5. 10月29日 日本の街には、どのような住まいがあるか？そこではどのような生活をしているか？その2 歴史的な住まい
6. 11月12日 日本の農村や漁村には、どのような住まいがあるか？そこではどのような生活をしているか？その1
7. 11月19日 日本の農村や漁村には、どのような住まいがあるか？そこではどのような生活をしているか？その2
8. 11月26日 人は、「食」(しょく)とその空間をどのようにデザインしてきたか？
9. 12月3日 人は「季節」とどのように向き合い、どのように住まいにデザインしてきたか？
10. 12月10日 人は「信仰」をどのように確認し、すまいと地域をどのようにデザインしてきたか？
11. 12月17日 人は「付き合い」をどのように住まいと地域社会にデザインして来たか？
12. 1月14日 フィールド調査の方法
13. 1月21日 レポート・論文の書き方
14. 1月28日 全体討論
15. 2月4日 まとめ

[キーワード] すまい, 民家, デザイン, 生活技術, 信仰, フィールド調査

[教科書・参考書] 教科書はとくに指定しない。参考書は、授業の進行にしたがい、適宜紹介する。

[評価方法・基準] 出席(理解度をみる出席アンケート)、ゼミでのレポート発表、終了レポート

[履修要件] 特になし

[備考] この科目は外国人留学生向けの科目で、外国人留学生の科目区分は専門選択科目(F30又はF36)となるが、日本人学生が履修した場合は余剰単位(Z99)となり卒業要件単位とはならない。